

5 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実施事業	竹喬美術館輸送・展示・撤収業務委託（小野竹喬のすべて） （生涯学習課）
総事業費	6,006,016 円
ふるさと納税充当額	3,800,000 円

御寄付により特別展「生誕 130 年記念 小野竹喬のすべて」展（会期：7 月 6 日～11 月 24 日）では、より多くの作品を借りることができました。

このたびの竹喬展は会期を前半と後半に分け、竹喬の画業の前半を「模索の時代」（会期：7 月 6 日～9 月 1 日）、後半を「至純の時代」（会期：9 月 7 日～11 月 24 日）と題して、作品をすべて展示替え、画業のあゆみを余すところなく紹介しました。

展示点数は 200 点以上となり、過去最大規模の竹喬展とすることができました。各地から多くのお客様にご来館いただき、お褒めの言葉を多く頂くことが出来ました。



「模索の時代」 展示風景



「至純の時代」 展示風景

実施事業	文化財保護事業（生涯学習課）
総事業費	1,324,000円
ふるさと納税充当額	1,300,000円

笠岡市では、文化財保護事業補助金によって、文化財を保存し後世に伝えるための取り組みを支援しています。平成31年度は、真鍋島の走り神輿修繕事業に補助金を支出しました。

真鍋島の走り神輿は、笠岡市重要無形民俗文化財に指定されている真鍋島の伝統行事で、3基の神輿が島の通りを猛烈なスピードで駆け抜けます。神輿は長年の使用により屋根や部材の傷みが激しくなっており、祭りを継続するためにも、維持修繕が長年の課題となっていました。このたび補助を受けて修理を実施したことにより、3基の神輿は美しい姿で甦りました。



修理前



修理後

実施事業	木山捷平生家維持管理事業（生涯学習課）
総事業費	1,629,546円
ふるさと納税充当額	1,270,000円

木山捷平は笠岡市山口出身の詩人・小説家です。その生家は、市内に残る著名な先人の生家としては唯一といってよいもので、木山捷平の作品の世界観をよく残しています。平成30年度に、ご遺族から生家の寄贈を受けました。そこで、生家を末永く保存するとともに、良好な状態で後世に伝えるために、維持補修工事を行いました。具体的には、腐食した床板の交換、扉の補修、便所屋根の修繕、倒壊寸前だった風呂場棟の撤去などです。工事の結果、生家の保存状態を回復することができました。その他、生家の測量図作成や日常管理なども行いました。今後は生家を活用した木山捷平顕彰事業を実施することも計画しています。



木山捷平生家維持補修工事

実施事業	古墳群園路修繕事業（生涯学習課）
総事業費	1,078,000円
ふるさと納税充当額	800,000円

かさおか古代の丘スポーツ公園内にある長福寺裏山古墳群には、5世紀に築造された古墳群を巡る園路が整備されており、たくさんの方が歴史学習や散策、ウォーキングを楽しんでいます。

園路の整備から20年近くが経過したことから、舗装に亀裂が入ったり、表面に凹凸が目立つ危険な部分が増えてきました。そこで園路内4箇所において、舗装の再施工を実施しました。その結果、安全で歩きやすい園路が甦りました。

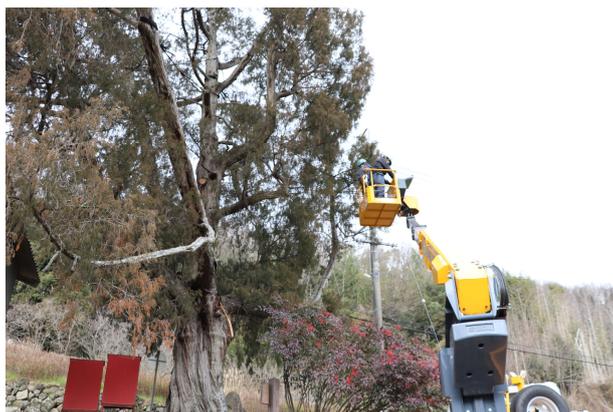


修繕後の園路と古墳群

実施事業	文化財樹木保護事業（生涯学習課）
総事業費	434,500円
ふるさと納税充当額	400,000円

走出にある笠岡市指定天然記念物「井立のネズの木」は推定樹齢300年以上で、高さ約15m、周囲約4.1mを測り、ネズとしては岡山県内で3本の指に入る巨木です。

令和元年に、大きく張りだした枝が、台風の強風で折れる被害が発生しました。ネズの樹勢が弱まるだけでなく、さらなる枝折れなども予想されました。そこで、ネズの木を末永く保存することを目的として、樹木医により枝折れ跡の治療、枯れ枝の剪定、大枝へのサポートロープの設置が行われました。事業の結果、ネズの木々の衰弱と新たな損壊を防止することができました。



井立のネズの木 枯れ枝剪定作業

実施事業	笠岡ふるさと再発見事業（生涯学習課）
総事業費	652,956円
ふるさと納税充当額	200,000円

平成27年度から実施してきた「笠岡へもっと愛着を持ち隊」は、小学生とその保護者に、笠岡の良いところに訪れる機会を提供し、笠岡のことをもっと知って、好きになってもらうことを目指しています。具体的には市内の小学生とその保護者に、『文化財めぐりハンドブック』に掲載された市内の文化財や文化施設を巡り、レポートを作成してもらいます。

令和元年度は、新たな施設などを加えた改訂版の『文化財めぐりハンドブック』を作製して、市内の小学生全員に配布しました。

募集の結果、44名から応募があり、195点のレポートが集まりました。審査を経て賞に選ばれた力作を、笠岡市生涯学習フェスティバルで展示しました。



令和元年度生涯学習フェスティバルの様子

実施事業	茅原船長パネル掲示板整備事業（生涯学習課）
総事業費	95,822円
ふるさと納税充当額	60,000円

茅原基治は明治18年に甲弩村で生まれ、長じて勝田汽船の貨物船の船長となりました。大正9年、ロシア革命の混乱で難民となったロシアの子どもたち約800名を陽明丸に乗せてウラジオストクを出発し、太平洋、大西洋を横断してフィンランドのコイビスト港に無事送り届ける大役を果たしました。命がけの航海により多くの人命を救った郷土の先人の行いを、多くの方に伝えるために、笠岡市立図書館に顕彰パネルを設置しました。このコーナーは今後も常設展示する予定です。



笠岡市立図書館のパネル展示